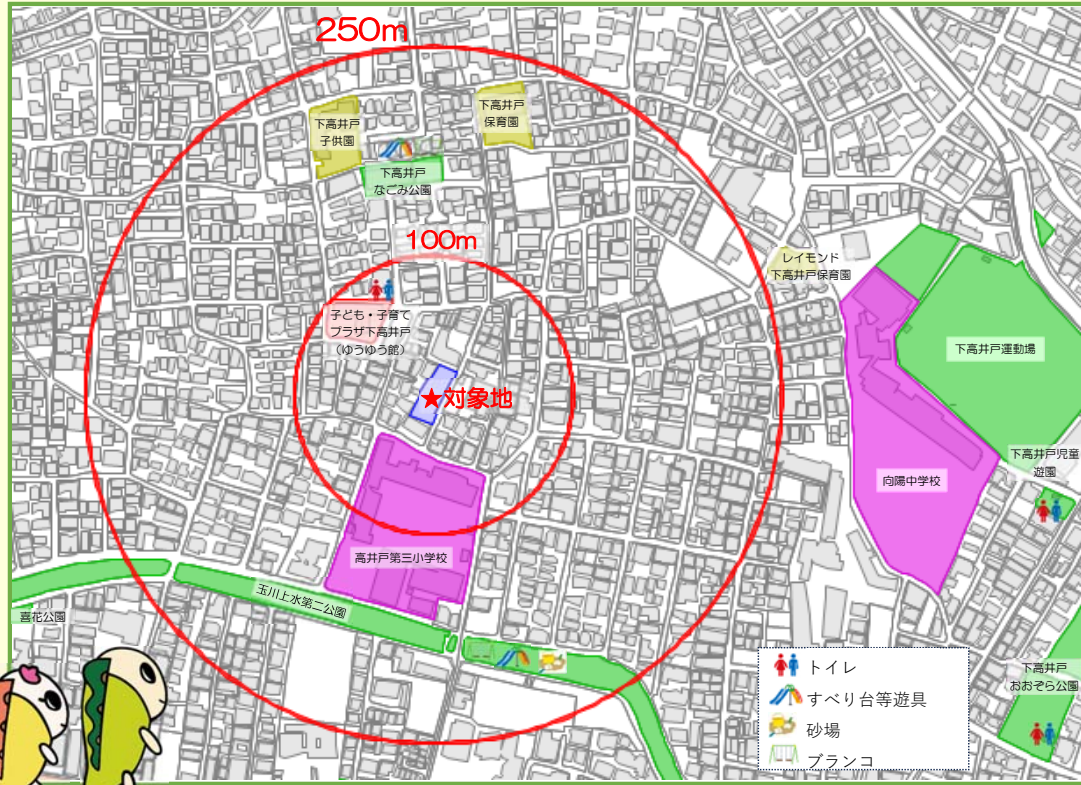


1. 対象地周辺の状況

(仮称) 下高井戸四丁目第二公園



立地条件

- 公園誘致圏内(250m)には小学校、子供園、保育園、子育て支援兼高齢者施設が1箇所ずつある。

公園などの分布状況

- 対象地から最も近い公園は、幼児向けの遊具が設置されている。
- 緑地の公園や東西に長い緑道もかねた公園がある。

今回の公園は街区公園だね。

公園の種類について



街区公園とは、おもに街区内に住んでいる方の利用に供することを目的とする公園です。250m以内の距離で行けるよう配置されています。



下高井戸なごみ公園



玉川上水第二公園



藤和緑地

➡ 近くに児童向けの遊具がなく、緑地や緑道はあるが、ゆっくりと安らげる場所が少ない。

2. 対象地の状況



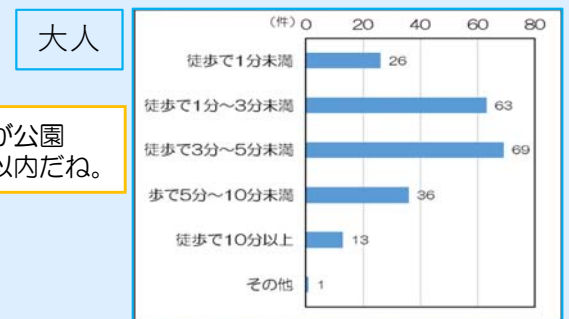
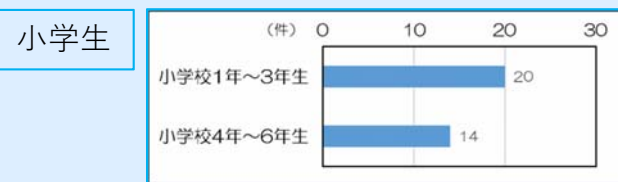
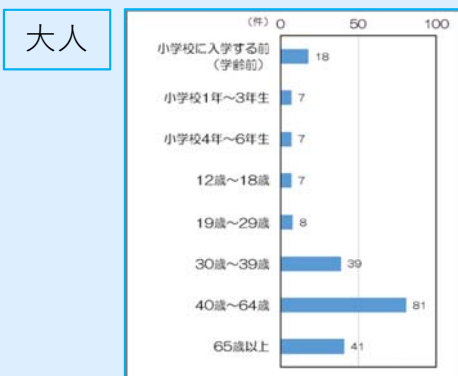
対象地の現況

- 三方を住宅、集合住宅に囲まれている。
- 敷地内には、柑橘類、ツツジ等の中低木の既存樹が残っている。

➡ 車道に接しているため、安全面の配慮が必要。既存植栽の有効活用を行う。



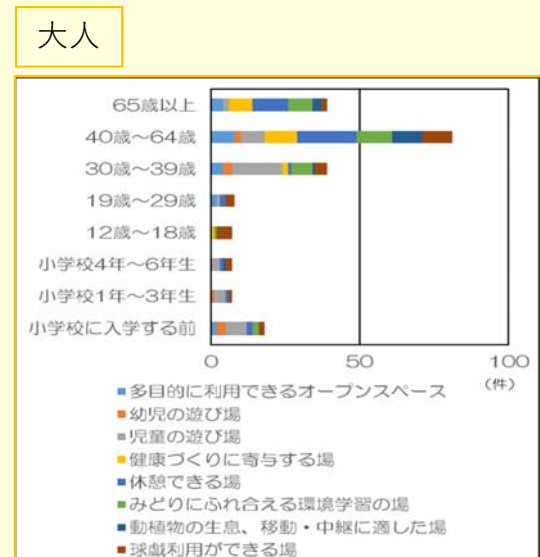
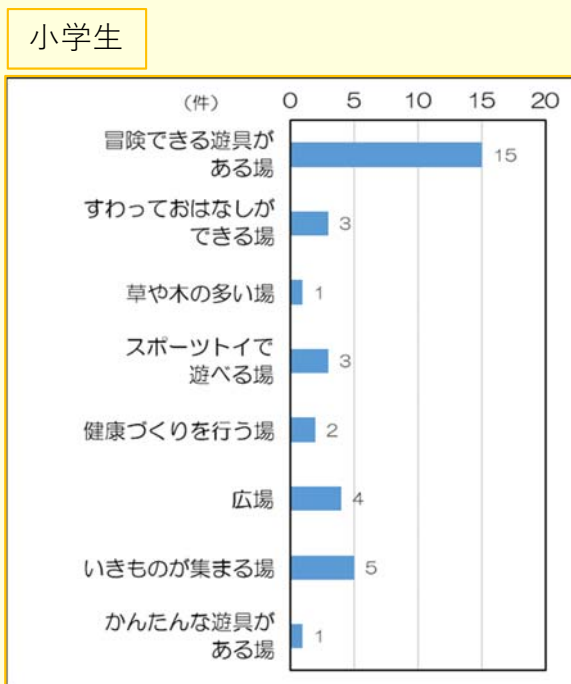
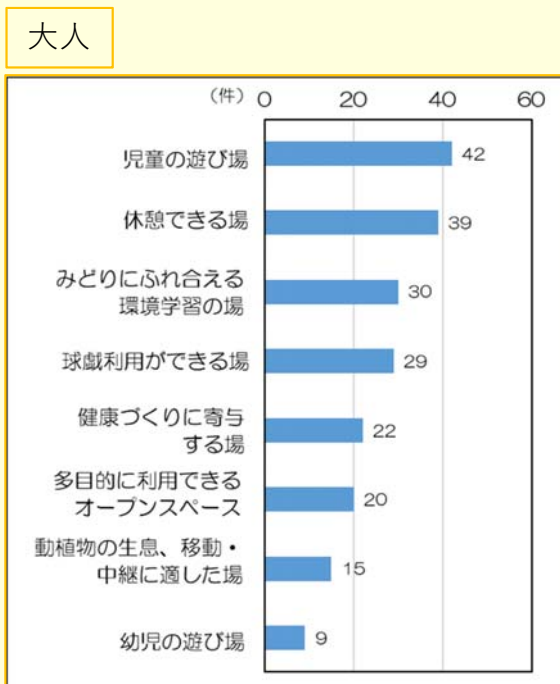
3. アイデア募集結果 1) どんな方が回答してくれた?



子育て世代や高齢者が多そうだね。

7割以上の方が公園から徒歩5分以内だね。

3. アイデア募集結果 2) 公園にどんな場所がほしい?



年代別の傾向を調べたよ。

30代では児童の遊び場が1番多くて、40代以上は休憩できる場やみどりにふれ合える場が多そうだね。

健康づくりに寄与する場も一定数の意見がありそうだね。

大人の回答では、児童の遊び場や休憩できる場の意見が多いね。
小学生の回答では、冒険できる遊具がある場が多いね。

(仮称)下高井戸四丁目第二公園が、より多くの方にご利用して頂けるよう、アイデア・ご意見をアンケートにて募集いたしました。







- 募集期間: 令和5年8月31日~9月15日
- 募集方法: Web: インターネットのアンケートフォーム
- 用紙: 公園予定地、下高井戸子供園、下高井戸保育園、子ども・子育てプラザ下高井戸公園予定地より半径約250mの範囲の住宅へ配布
- 小学生: 高井戸第三小学校、高井戸第三小学校児童クラブ、放課後居場所事業等

ご協力ありがとうございました。

3. アイデア募集結果 5) ほしい施設まとめ

大人

ほしい施設1位、2位、3位の回答を得点化し総計で換算した結果を表にしました。

施設名	備考
①あずま屋  268点	遊ぶ時、休憩時両方で利用ニーズがあり、暑さ対策等の機能的な役割もあることから意見が多かったのではないかと推察する。
②ベンチ  162点	回答の絵等を見ると、ベンチの記載が多く見受けられる。公園＝ベンチのイメージがあり設置希望が多いのではないかと推察する。
③花が咲く木  143点	記述意見に花が咲くことで季節を感じたり、自然を感じたりしたい意見もあるため、多い傾向にあると推察する。また、公園対象地の既存樹に花木等があるのも要因の1つではないかと考える。
④誰もが遊べる遊具  114点	みんなで遊びたい目的の人が多いため。小学生の意見を見ると、誰もが遊べる遊具や冒険できる遊具等の希望が多いことから誰でも、楽しく、屋外の場所で遊びたいのではないかと推察する。
⑤健康遊具  112点	記述意見でストレッチ等を公園でしたい回答があった。集計の結果より、高齢者の希望が多く回答者数に比例し多い結果となったと推察する。
⑥オリジナル遊具  96点	子供が遊びたい遊具として、一般的な遊具より需要がたかかったのではないかと推察する。

※配点（1位：5点、2位：3点、3位：1点）

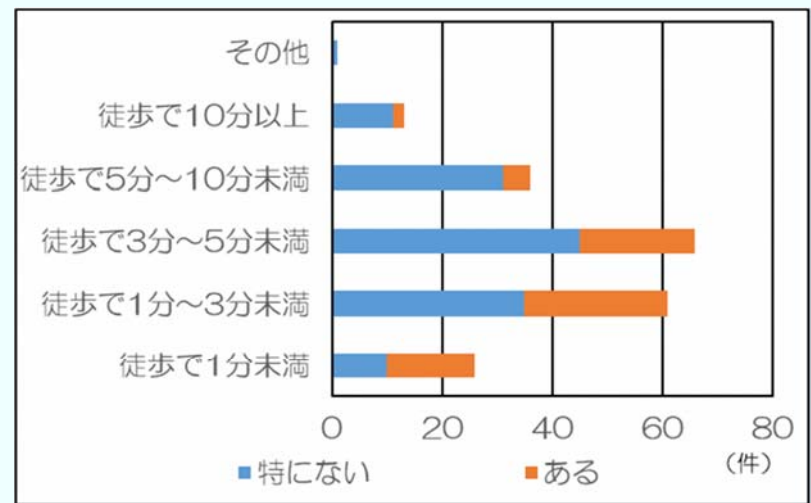
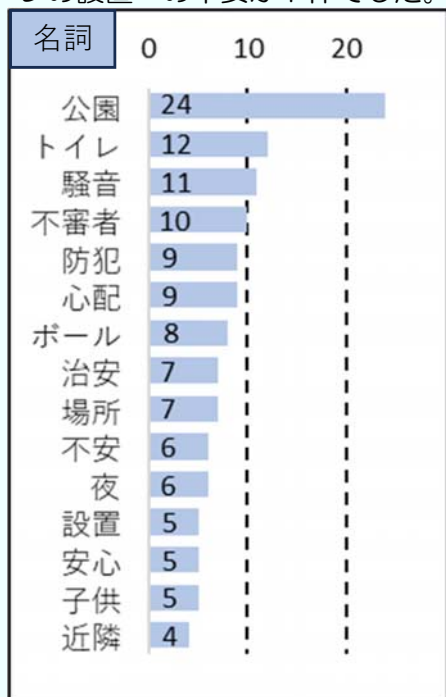
小学生

「遊具」の回答が1番多かったです。遊具の中でも、「障がいがある人も遊べる遊具」、「ここにしかない遊具」の回答が多くありました。遊具の次に「休憩施設」や「広場」の回答が多かったです。



3. アイデア募集結果 6) 不安なことは？・自由意見等

不安が「ある」の回答は全体の34.5%でした。具体的内容は、「防犯や治安への不安」が36件で多く、騒音への不安は18件、トイレの設置への不安が7件でした。



記述回答の単語頻出をまとめたグラフと属性と集計したグラフです。公園の近くにお住いの方ほど「不安なこと」への回答割合が高くなっています。



自由意見まとめ

- 「遊び」では、近隣の公園と重複しない遊具や、小学生向けの遊具の導入が求められています。
- 「憩い・散策」では、暑さ対策に関心が多く、安心して過ごせる涼しい公園や高齢者にも居心地の良い公園づくりが望まれています。
- 「自然とのふれあい」では、自然が豊かな公園を形成し、樹木や花などの自然とふれあえる場が求められています。
- 「健康・運動」では、高齢者向けの健康施設の導入が望まれています。

【球戯場施設とトイレ設置について】

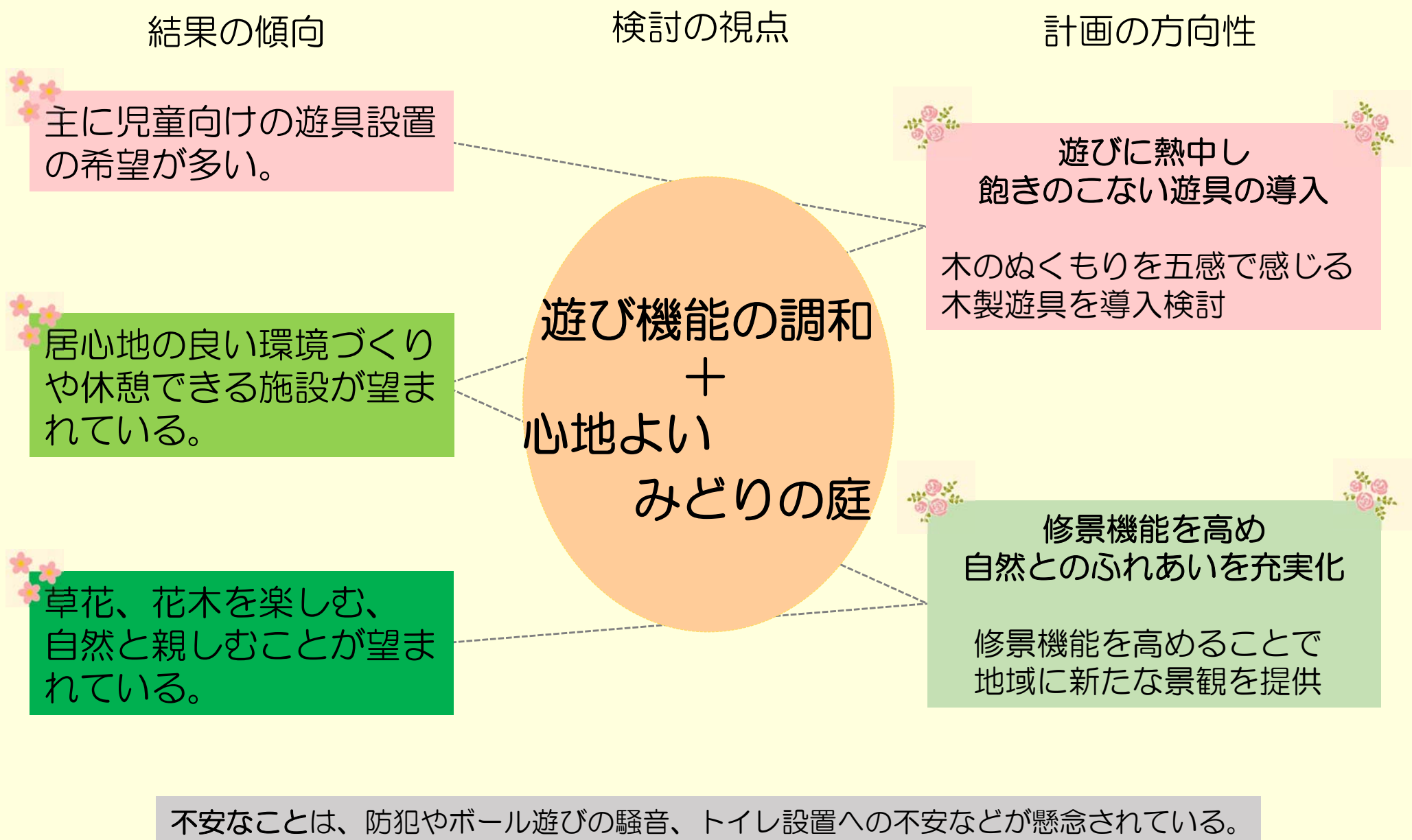
遊具や休憩施設の設置希望が多い傾向にあること等をふまえ、設置は見送らせていただく予定です。

今回の公園づくりでは、ご期待に沿うことができず申し訳ございません。

これからの公園づくりに貴重なご意見として活用させていただきます。

3. アイデア募集結果 7) アイデア募集結果のまとめ・計画の方向性

◆【計画の方向性】「遊びとともに潤い・安らぎを感じ、健康志向の公園づくり」



4. 基本方針案

本公園の役割

本公園は、住宅地の中に位置し、良好な生活環境の形成に寄与します。そのため、様々なニーズに応じた活動機能が求められます。また、近くに小学校があり、数多くの児童による利用が見込まれます。

アイデア募集の結果では、「遊び」、「憩い・散策」、「自然とのふれあい」、「健康・運動」の順で利用ニーズが高い結果となりました。



基本的な考え方

区民のみなさまに親しまれ、愛される公園づくり

アイデア募集の結果を基に遊び、安らぎ、健康など、ライフスタイルに応じた公園づくりを進めます。

居心地が良く、誰もが安全・安心で、快適に過ごせる公園づくり

既存の樹木を活用し自然とのふれあいの空間づくり、防犯・治安、暑熱対策、バリアフリーなどに配慮します。

人や地域をつなぐ公園づくり

様々な世代や、多くの区民が交流活動などを促進する場を形成します。

【公園整備のポイント】

- 子ども達の公園利用に配慮し、見通しを良く、安心して遊べる公園とします。
- 遊びや散歩など、日常的な立ち寄りを促す居心地の良い休息空間を創出します。
- 花や緑による自然とのふれあいを楽しめる修景的な植栽を施します。
- 閑静な住宅地にあって、騒音や治安・防犯の面に十分配慮した計画とします。

5. 整備方針案

◆ 基本テーマ ◆

～ 心地よいみどりに囲まれた遊びと憩いの庭 ～

A案

遊びの機能の調和から遊具を重視した公園

● 遊具ゾーン

アンケートから「遊び」に関しての要望が多く寄せられています。登る、転がる、ぶら下がる、すべるなど、子供たちが全身で触れる遊び場となるように色々な遊具を設けています。



● 健康づくりゾーン

日頃の健康・運動機能の維持・向上により、健康寿命の増進が図られるよう、健康遊具を設けています。

凡例： 植栽

● 憩いの場ゾーン

ミカンの木などの既存の中低木や新しい宿根草によって、自然環境の醸成を図るとともに、パーゴラや縁台の設置により、住民が憩える空間を演出しています。

B案

心地よいみどりの庭から休憩・散策を重視した公園

● 憩いの場ゾーン

ミカンの木などの既存の中低木を配置し、季節ごとの花により、公園の修景機能を高めます。憩いや散策を楽しめる空間を創出することで、身近な自然とのふれあいの場となる新しい景観を演出しています。また、家族連れや高齢者の方などが落ち着いて過ごせる居心地の良い休憩スペースを配置しています。



● 遊具ゾーン

少しスリルを感じることができ、やさしく利用しやすい遊具を配置しています。

凡例： 植栽

● 健康づくりゾーン

日頃の健康・運動機能の維持・向上により、健康寿命の増進が図られるよう、健康遊具を設けています。

6. 整備案

A案

遊びの機能の調和から遊具を重視した公園



※遊具等の内容や位置については現時点での想定です。
最終案で変更になる可能性があります。

6. 整備案

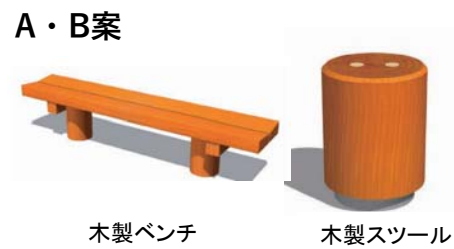
B案 心地よいみどりの庭から休憩・散策を重視した公園



※遊具等の内容や位置については現時点での想定です。
最終案で変更になる可能性があります。

7. 各施設イメージ

休憩施設



遊具



健康施設



インクルーシブ遊具
(しょうがいのある人もあそべるゆうぐ)

